







2mを超えるほどの巨大模型、なのに超精密。 艦船模型の常識を覆す巨艦建造の記録

本書はコペンハーゲン在住の日本人模型作家、内山睦雄氏が製作した艦船模型作品を紹介するものである 内山氏の艦船模型作品は1/100スケールを基本としており、紙によって作られている しかし材質が紙だからと言って一般的なペーパークラフトのような作品ではないことは、 このページに掲載された重巡洋艦「鳥海」をご覧になればおわかりいただけるだろう 巨大ではあるが、超精密

最新考証を盛り込みつつも遊び心満載 従来の艦船模型の常識を覆す世界で唯一無二の艦船模型 あなたがまだ見たことのない異次元の世界の扉がひらかれる

C	0	N	T	E	N	T
海を渡った4隻の超精密巨大艦船模型4						
帝国海軍	重巡洋艦 鳥	鳥海 1944(1/100)			6
コペンハ	ーゲン→日	本 巨艦製作詞	?		•••••	34
巨艦建造	の紆余曲折	f。	•••••		•••••	38
帝国海軍	航空戦艦日	3向 1944(1/96)		•••••	44
上総工廠		•••••	•••••	••••	•••••	72
帝国海軍	重巡洋艦 青	青葉 1944(1/100)		•••••	74
帝国海軍	重巡洋艦 7	5鷹 1942(1/100)		1	02











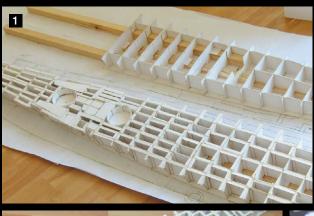




コペンノーゲン

内山睦雄氏が製作している2mもあるような巨大な艦船模型はどのような工程を経て完成に至ったのか? ここでは最新作の重巡洋艦「鳥海」の製作途中写真を中心に紹介しよう。本書を読んで「自分も同じような作品を作ってみたい」と思われた読者の方の参考になるはずだ

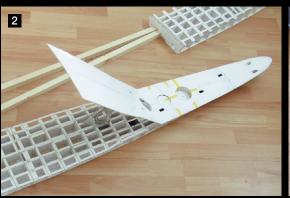
大な艦船模型がどのように作られるで完成したのか全記録



コペンハーゲン

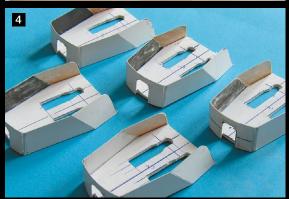
2017年、コペンハーゲンにて内山氏が製作を開始

11~3船体など大きなパーツは厚さ2mmの厚紙を 組み合わせて製作している。日本国内でも通販サイトで工作用ボール紙という名称で発売されている。 場所によっては厚さ1mmの紙も使う。また煙突な どの曲面はより薄い紙を使用するなど臨機応変に対 応する。船体はあまりに大きいと取り回しに苦労す るので分割可能な構造として内部に角材などを仕込 んでおく





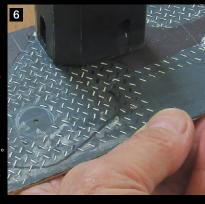
■20.3cm連接主砲。砲塔内部を再現しないのは1/250を製作していたとき以来の手法。内部を再現してもほとんど見えなくなるため省略している。砲身を稼働状態とする場合、俯仰角をかけるときに備えて床面を砲尾が入るようにくり抜いておく必要がある





鉄甲板の滑り止め 6 モールドも手作り

⑤実艦の鉄甲板には滑り止めバターンがモールドされているが、模型ではこのようにひとつひとつ貼り付けることで再現している。慣れないうちは場所がずれないように位置を書き込んでいたが、数が多いため途中からは勘で貼り付けるようになった ▼金無発射管などが置かれるシェルター甲板内部。滑り止めに使う紙は適度な厚みがあるものならば何でもいい。実艦の滑り止めの長さは基本的に24cmだが場所によっては20cmもあるため数種類作って使い分けている



3











定価(本体4,900円+税)











